

2026年度 須磨学園夙川中学校入学試験

国 語

第 3 回

(注 意)

解答用紙は、この問題冊子の中央にはさんであります。まず、解答用紙を取り出して、受験番号シールを貼り、受験番号と名前を記入しなさい。

1. すべての問題を解答しなさい。
 2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
 3. 字数制限のある問題については、記号、句読点も1字と数えること。
 4. 試験終了後、解答用紙のみ提出し、問題冊子は持ち帰りなさい。
- ※ 設問の都合上、本文を一部変更している場合があります。



次の文章は、高橋亨『海外で結果を出す人は、「異文化」を言い訳にしない』の一部です。これを読んで、後の設問に答えなさい。

そのあとを継いでチームにやってきたリーダーは、中近東での経験がまったくない人だった。頭の回転が速く、仕事の実績もあつたが、中近東のフクザツなビジネスをマネジメントできるかどうか定かではなかった。正直なところ周囲では、お手並み拝見5といった空気があつたように思う。そのリーダーは、自分よりも中近東での経験が豊富な部下や、中近東の最前線で業務をこなしている駐在員^{注3}に対して、こんな〈問い〉を投げつけた。

10 「なぜ、そのような見方をして、そのような判断になったのか？」
「なぜ、君はそのようなテンカイになると判断しているのか？」
「なぜ、無理だとあきらめるのか？」

15 部下や最前線にいる仲間とのこうしたやり取りを通して、それぞれの国でのビジネスの^Cカラクリを少しずつ把握していったのだ。その結果、それまでは組織として見えていなかった事実が見出されたり、それまでは最初から無理だと諦めていた案件に新しい^{注4}アプローチが取られたりするようになった。

20 このリーダーは、ビジネスの場所が「中近東であるから」ということを、「できない」理由にすることを絶対にしなかったし、他者にも認めなかった。もちろん、中近東でビジネスをやるからには、現地のことを熟知しているほうが有利に決まっている。中近東のやり方に精通しなければ、相手の懐^{ふところ}に入って仕事をやりとげることが困難だ。

25 一方で、豊富な知識や経験が「バイアス」になると、かえってビジネスの判断を誤らせる。そのことを、後任のリーダーは知っていたのだ。これは、中近東に限らず、アジアや欧米、アフリカ諸国でも同じだろう。当時から現在に至るまで、海外で活躍しているビジネスパーソンを見ると、結果を出している人ほど、「異文化」を言い訳にしない。

30 実際に海外でビジネスを推進しようとすると、さまざまな困難に遭遇する。タフな交渉も多いし、実際には「何でこうなってしまうのか？」と首をひねることの連続だ。そんな場面や状況が続くと、心が折れ、ついつい逃げ出したくなったり、弱音を吐きたくなったりする。

35 「ここは中近東だからな」
「ここはイランなんだから」
そうした厳しい環境のなかで、現実から逃げることなく向き合うには、自分で自分の背中をつねに押しつづけなくてはいいけな

40 からのらった言葉だ。
い。そんなとき、今でも思い出す言葉がある。イラン時代の先輩^D

「いい仕事をしようと思ってるのなら、一番会いたくない人に、一番会いたくないときに、会いに行け！」

45 顧客から、とても対応できないような無茶な要望が来たときなど、今このタイミングで相手に会いに行くのは、できるかぎり避けたいものだ。特に、顧客のなかでも、かなり付き合いづらい相手に対しては、勘弁してほしいと思うことも多かった。今このタイミングで会いに行っても、状況を打破することは、まずできそうにない。このまま喉元を過ぎるまでじっとしていたいと弱気になるのが人間の自然な感情だ。異文化を言い訳に使いたくなる気持ちも湧き上がってくる。そんな心が折れそうなときに、なんとか自分を奮い立たせ、顧客やビジネスそのものに向き合わせてくれたのが、この言葉だった。そうして腹をくくって会いに行く55と、意外な事実を発見できたり、顧客の本音が聞けたり、問題のシンイン^Cが見えてきたりするものだ。今でも私の座右の銘になっている。

60 冷静に考えてみれば、日本でのビジネスなら、それほど苦労もせずに対処できる問題も、こと海外の話になると、急にハードル^Eが上がってしまう。というのも、多くの日本人ビジネスパーソンは、海外は特別であるという「バイアス」を持っているからだ。そのために、自分で自分の状況を難しく考えてしまっているように見える。

65 海外ビジネスだからといって、何か特別なことをやる必要はまったくない。そのマインドセットを持つことができれば、一般^{注7}に言われているほど、海外ビジネスのハードルは高くはない。むしろ、海外だからこそ、基本に忠実に従って仕事を遂行^{すいこう}することが最も近道だと、私は考えている。

注1 中近東：イランやイラクなどの地方。

注2 マネジメント：チームのメンバーがうまく動けるように、計画を立てて、やることをまとめること。

注3 駐在員：会社からのお願いで、しばらくの間、外国で仕事をやる人。

注4 アプローチ：ここでは目標に近づく手段を指す。

注5 バイアス：思いこみや偏り。

注6 タフな：困難な。手ごわい。

注7 マインドセット：ここでは心構えを指す。

一の設問

問一 ——線部A「お手並み拝見といった空気があった」とあ

りますが、それはどういうことですか。その説明として最も
適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 チームでは、新しいリーダーがチームをマネジメントできるかどうか定かではなかったが、同じチームである以上、リーダーについていこうとする雰囲気があったということ。
- 2 チームでは、新しいリーダーが他国の仕事で培った考え方や仕事の仕方、中近東での自分たちの仕事にも活用できるように、謙虚に学ぼうとする雰囲気があったということ。
- 3 チームでは、中近東での仕事の経験がまったくないリーダーがうまくチームをマネジメントできるはずがないと考え、リーダーに関わろうとしない雰囲気があったということ。
- 4 チームでは、中近東での仕事の経験がない新しいリーダーが果たしてチームをまとめられるのか疑わしく、リーダーの実力を見定めてやろうとする雰囲気があったということ。
- 5 チームでは、リーダーは部下や仲間「問い」を投げ続けることで、中近東のビジネスでもきつと成功させることができるだろうと、温かく見守る雰囲気があったということ。

問二 ——線部B「こんな〈問い〉を投げつづけた」とありま

すが、その背景にある理由についての説明として最も適当な
ものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 経験豊富な部下や仲間から多くのことを学び、いち早くリーダーとして認められたことから。
- 2 わかったふりをせず、簡単なことでも一つ一つ質問することが、いい仕事をする近道だから。
- 3 あえてわからないふりをして質問をすることで、自分で考える部下や仲間を育てたかったから。
- 4 リーダーとして、現場の部下や仲間の誤りを、相手が傷つけないように気づかせたかったから。
- 5 現場での多くの知識や経験を過信するあまり、適切ではない判断をしている危険性があるから。

問三 ——線部C「ビジネスのクラクリ」とは、どのようなも

のですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一
つ選び、番号で答えなさい。

- 1 新しいリーダーが、部下や仲間「なぜ」と質問し続けることで、チームをまとめる仕事の手段。
- 2 部下や仲間が、判断に至るまでの手段について自然と意識が向く、工夫を凝らした質問の仕掛け。
- 3 各国に特有な、判断根拠となる事実や手段を組み合わせて、案件として完成される業務の仕組み。
- 4 正攻法ではなく、仕事相手の懐に入って相手が望むものを与える、中近東ならではの業務の流儀。
- 5 ビジネスの場所が中近東でも、確実に結果を出すための、異文化を言い訳にしない仕事のやり方。

問四 ——線部D「イラン時代の先輩からもらった言葉」とあ

りますが、その「言葉」は、筆者にとってどのようなもので
すか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選
び、番号で答えなさい。

- 1 異文化を言い訳にせずに、海外でいい仕事をするうえで
は、世界中のビジネスパーソンが守らねばならない価値のあ
る座右の銘。
- 2 海外でいい仕事をするうえで、一番付き合いたい相手に、一番会いたくないタイミングで会いに行けという先輩の
業務命令。
- 3 海外の厳しい環境のなかで弱音を吐きたくなる自分の背中
を押すために伝えられた、現実から逃げずに向き合っている
先輩の助言。
- 4 海外ビジネスでの困難な環境に心が折れそうな時、自分を
奮い立たせて、目の前の顧客や仕事に向き合わせてくれた大
切な教訓。
- 5 日本とまったく場面や状況の異なる海外ビジネスであって
も、最も嫌なことに一番最初に着手するべきであるという仕
事の基本。

設問は、裏面に続きます。

問五 ——線部E「急にハードルが上がってしまう」とありますが、それはどのようなことですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 海外では、顧客が無茶な要望を出してきて、なかには付き合いづらい相手もいるため、顧客に会うのが面倒になってしまっていること。
- 2 日本人の会社員が、海外は特別だと思ひ込み、実際は容易に対処できる海外での仕事の問題を、自分で難しく考えてしまっていること。
- 3 海外で生じる仕事の問題には対処できないと考えて、海外でビジネスを推進するのは難しいと、挑戦する前に諦めてしまっていること。
- 4 日本の会社員は、海外ビジネスでは日本でのビジネスとは違って、何か特別なことをやる必要があると、思ひ込んでしまっていること。
- 5 日本でも海外でも仕事の基本は同じであるというマインドセットを持つことができず、海外ビジネスが困難になってしまっていること。

問六 ——線部F「海外だからこそ、基本に忠実に従って仕事を遂行する」とありますが、ここでの「仕事」の「基本」とは、具体的にどうすることですか。本文全体の内容を踏まえて、六〇字以内で説明しなさい。

下書き用(※これは解答用紙ではありません)

60		40		20			

問七 ——線部『中近東であるから』ということをして、「できない」理由にする』について、次の(i)～(iii)の問いにそれぞれ答えなさい。

- (i) 「中近東」を「異文化」の一例だと解釈した場合、『中近東であるから』ということをして、「できない」理由にする」と、抽象的に同じ形式だと考えられる文を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。
 - 1 Xだから、Yである。
 - 2 Xだから、Yではない。
 - 3 Xではないから、Yである。
 - 4 Xではないから、Yではない。
- (ii) (i)の例文として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。
 - 1 お腹がすいたから、ご飯を食べる。
 - 2 雨だから、外では遊べない。
 - 3 今日は日曜日ではないから、学校がある。
 - 4 犬ではないから、ネコではない。
- (iii) (i)・(ii)を踏まえると、——線部のような説明はあまり論理的ではないと評価できます。その理由を——線部の内容に即して、三〇字以内で説明しなさい。

下書き用(※これは解答用紙ではありません)

30		20					

問八 ～～～線部のa～cのカタカナに相当する漢字を楷書で書きなさい。

- a フクザツ b テンカイ c シンイン

二 次の文章は、赤羽じゅんこ『ひと箱本屋とひみつの友だち』の一節です。小学五年生の朱莉は、行きつけのカフェ・SHIORIで、車いすを使用している友人の理々亜と話をしています。これを読んで、後の設問に答えなさい。

それは、夏休み、理々亜とふたりで「SHIORI」のすみのテーブルで宿題をしていたときのことだった。

「はあ」

A 大きなため息が出た。それほど意識せず、ふと。

5 「どうした？ 朱莉、悩みでもあるの？」

理々亜が宿題の手をとめて、こつちを見る。

「うん。友だち関係ってむずかしいなって思っ」

わたしは昨日のことを思いだしながらいう。

10 昨日、コンビニの前ではったり陽菜と出会ったんだ。そのとき、こうさそわれた。

「夏休みってひまだよね。今度の日曜日、モールに買い物、行かない？ 映画を観たっていいし」

15 ダンスの友だちはみんな、親のつきそいなしで、子どもだけで買物に行くという。だから、わたしとふたりで行こうというのだ。

「モールか。行きたくても、たぶん、うちはダメだよ」

おばあちゃんはいまだに、小学生だけでモールに出かけるのをゆるしてくれない。このごろ、いやなニュースもあるし、あぶな

20 「でも、聞くだけ聞いてみたら」

「ええーっ」

B 「だって、大人のいいなりって、つまんないよ」

「でも……」

25 「ほら、バスで行けば一本だし、モール以外は行かないし、うち陽菜はその日、やけにしつこかった。

だから気をつかいながらも、はつきりいつてしまった。

「ごめん。わたしは、やっぱり行けない」

そうしたら、「もうっ。朱莉はほんと、まじめすぎ。つまんな

30 い」っていわれたんだ。おおげさに肩かたもすくめられた。

それがこたえていた。

陽菜は五歳さいも年のはなれた高一のおねえさんがいるせいとか、友だちだけで外出するのも抵抗ていこうがないようだ。

でも、わたしは、注2インドアでも十分楽しいタイプ。反対するお

35 ばあちゃんを説得してまで、買い物に行きたいとは思わない。

それに「まじめ」っていわれちゃった。

そうなのかな？ まじめすぎるのかな？

陽菜とは幼おきななじみで、ずっと仲よしだった。

40 でも、最近は遊びの好みがちがってきて、陽菜にいわれたことそのもやもやが、ため息になったんだ。

わたしは理々亜のほうを見て、ぼやくようにいった。

D 「いいよねー。理々亜は明るいし、人見知りしないから、クラス

45 でも人気者でしょ」

理々亜は、おどろいたように目をみはった。

「あたしが人気者？ そんなことないよ。みんなやさしいけど、壁かべがある。本音では話せない」

「えっ、ほんと？」

50 「うん。朱莉、知ってる？ やさしい仲間はずれって？」

E 初耳だった。どういうことだろうと、首をかしげる。

「気をつかわれすぎて、仲間はずれにされちゃうこと。たとえばね、クラスの子がプールに行ったことや、お泊とまり会したことを、わいわい話してるでしょ。でも、『入れて』ってあたしが行くと、ぴたっととまるの。口をとじるの。あたしがプールとか行けないから、気をつかってだまってしまふの。そして、急にあたしが好きそうな本やアニメの話題に変えるの」

「それは、理々亜と楽しく話したいからだよ？」

60 「そうだけど、プールが楽しかった話には入れない。お泊まり会の話もなし。好きな男子の話も聞けない。会話の深いところには入れないの。表面だけ。愛想あいせつ笑いわらみたいな部分だけしかつきあえないの」

理々亜は鼻に思いつきりしわをよせた。

注1 モール：たくさんのお店が一つの大きな建物の中に集

まっている場所。

注2 インドア：本文では、外出せず、自宅で過こすことを指す。

二の設問

問一 ～～～線部 a・b の本文中における意味を表す語句として最も適当なものを、次の中から一つずつ選び、それぞれ番号で答えなさい。

a こたえている

- 1 忘れずにいる
- 2 辛く感じている
- 3 返答できている
- 4 実感できている
- 5 反対できている

b 愛想笑い

- 1 周囲に同調する笑い
- 2 魅力的な表情の笑い
- 3 印象を重視した笑い
- 4 本音とは真逆の笑い
- 5 あきれたような笑い

問二 ——線部 A「大きなため息が出た」とありますが、それはなぜですか。本文全体の内容を踏まえた説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 朱莉が理々亜に自然な流れで相談したかったから。
- 2 友人関係とは簡単ではないと考え込んでいるから。
- 3 朱莉の宿題がきりのいいところまで終わったから。
- 4 朱莉が、幼なじみとのすれ違いに悩んでいたから。
- 5 理々亜が朱莉の近くにいて、宿題ができないから。

問三 ——線部 B『でも……』に含まれる朱莉の心情として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 家庭のルールを守りたいという義務感と、陽菜の誘いを断る罪悪感が入り混じっている。
- 2 陽菜の活発さと自分の消極的な性格の違いに悩むが、簡単には変わらない無力さを感じている。
- 3 幼なじみとの関係が変化しつつあることを寂しく思いつつ、新しい関係性に戸惑っている。
- 4 陽菜に対して本音を言うことができず、表面的な付き合いになるかもしれないと恐れている。
- 5 陽菜が子どもだけで買い物に行こうと何度も誘っていることにうまく返答できず、困っている。

問四 ——線部 C「おおげさに肩もすくめられた」とありますが、陽菜がそうしたのはなぜですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 自分としては譲歩したにもかかわらず、その思いをくみ取ろうとしない朱莉に、友だち関係を続けられないと思ったから。
- 2 再三の誘いにもかかわらず、頑なに大人の言いつけを守ろうとする朱莉に不満を感じ、その気持ちを発散したかったから。
- 3 今後、たとえどういふ状況であっても陽菜と外出するつもりはないと答える朱莉の態度に、幼なじみとして困惑したから。
- 4 ただ真面目に大人に従っていることがどれほど人生をつまらなくすることなのか、朱莉に対し、より強調して伝えるため。
- 5 親友である朱莉と、対立する考えをすり合わせる会話をしばらく続けていたため、何も考えずに気分転換したかったから。

問五 ——線部 D『いいよねー。理々亜は明るいし、人見知りしないから、クラスでも人気者でしょ』とありますが、この発言から推測できる説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 理々亜は明るい性格で、全員に笑顔で話しかける性格であるため、クラスの人気者である。
- 2 朱莉が陽菜との友人関係に悩んでいるのに対して、理々亜は、友人関係には悩んでいない。
- 3 朱莉は内向的で、慣れない人と話すのは恥ずかしく思うため、クラスでは人気者ではない。
- 4 朱莉は、自分が持ち合わせていない全ての才能を兼ね備えた理々亜を羨ましく思っている。
- 5 インドア好きな朱莉は性格が明るくなく趣味も多くないため、クラスの友だちが少ない。

設問は、裏面に続きます。

問六 ——線部E「やさしい仲間はずれ」について、次の(i)、

(ii)の問いにそれぞれ答えなさい。

(i)「やさしい仲間はずれ」とは具体的にどのような状態ですか。

最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 理々亜の前では常に優しい態度を取るクラスメイトが、内心では面倒に思っており、二面性を持って理々亜と接する状態。
- 2 クラスメイトが車いす利用者の理々亜を傷つけないよう配慮するあまり、理々亜が参加できないことの話題を中断する状態。
- 3 クラスメイトが理々亜を特別視せず平等に扱おうとするあまり、かえって理々亜の希望を考慮せずに集団行動を強いる状態。
- 4 理々亜が自分から仲間に入りたいと要求することで、周囲が困惑し自然な会話を失うきこちない空気が生まれている状態。
- 5 理々亜と仲が良い時には壁を作らずに本音をおぼつける一方で、仲がこじれた時には自分が責められないように壁を作る状態。

(ii)「やさしい仲間はずれ」と言った理々亜の心情を「気づか

い」「表面的」という言葉を必ず用いて七〇字以内で説明し

なさい。

下書き用(※これは解答用紙ではありません)

70	60	40	20			

問七 本文の内容・構成・表現の説明として、適当なものは○、

適当でないものは×と、それぞれ記号で答えなさい。

- 1 本文の物語は、朱莉と理々亜の二人の視点で描かれている。
- 2 4行目「それほど意識せず、ふと。」では倒置法が用いられ、朱莉の視点に寄り添う形で語られている。
- 3 文末が2行目「だった。」から6行目「こつちを見る。」に変化し、臨場感が演出されている。
- 4 10行目「出会ったんだ」は、8行目の「昨日」と呼応する表現である。
- 5 16行目の「うち」と24行目の「うち」は、異なる意味を表している。
- 6 本文全体を通して朱莉は自身を「わたし」と言い、理々亜は自身を「あたし」と一貫して呼んでいる。
- 7 「 」を用いない文には、ストーリーを語る役割に加え、朱莉の意識を表現する役割がある。
- 8 物語は1行目～41行目が「壁のない悩み」で、43行目～63行目が「壁のある悩み」だと要約できる。

↓ここにシールを貼ってください↓

--

受験番号			

名前	
----	--

2026年度 須磨学園夙川中学校 第3回入学試験 解答用紙 国語

※		※		※		※		※		※		一
問八	問七	問六				問五	問四	問三	問二	問一	(※の欄には、何も記入してはいけません)	
c	a	(iii)		(i)								
	b			(ii)								
				(ii)								
				(ii)								
				(ii)								
※	30	20		60	40	20						

※		※		※		※		※		二	
問七	問六				問五	問四	問三	問二	問一	(※の欄には、何も記入してはいけません)	
7	5	3	1	(ii)		(i)		a			
8	6	4	2					b			
※	70	60	40	20							

